神奈川県生活協同組合連合会

神協連ニュース

No.471 2021年3月15日

横浜市港北区新横浜2丁目6番地13
新横浜ステーションビル9階　〒222-0033
TEL　045-473-1031（代表）
FAX　045-473-9272
Email:kccf@qf7.so-net.ne.jp
http://www.coopkana.jp

核兵器禁止条約発効を記念してオンライン学習会

2020年10月、核兵器禁止条約に批准した国と地域が50に達し、同条約は本年1月22日に発効しました。核兵器禁止条約は核兵器の開発や保有・使用に加え「使用するという威嚇」も違法とする初めての国際条約です。今回の学習会は、核兵器禁止条約の発効について親子で平和について話し合う機会にできればと、神奈川県原爆被災者の会・原水爆禁止神奈川県協議会・神奈川県生活協同組合連合会が核兵器禁止条約の発効を記念して開催しました。

「核兵器禁止条約ってなあに？
発効すると何が変わるの？」

■ 日　時／2021年2月20日（土）10:30～11:45
■ 開催方法／オルタナティブ生活館スペースオルタよりオンライン開催
■ 参加人数／52名（サテライト・家族参加の人数を含まず）
■ 内　容／司　会：雨宮 優夏さん　横浜市立大学3年
開会挨拶：丸山 進　神奈川県原爆被災者の会会長
学習会：「核兵器禁止条約ってなあに?発効すると何が変わるの?」
講　師：川崎 哲さん（ピースボート共同代表。核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）国際運営委員
質疑・応答
丸山 進会長より皆さんへメッセージ
川崎 哲さんより皆さんへメッセージ

2020年度福祉セミナー開催

福祉セミナーは、神奈川県労働者福祉協議会と神奈川県生活協同組合連合会の共催で毎年開催しています。今年は4月1日から3年に一度行われている介護報酬改定の年であり、生協が今後も地域福祉に一層貢献していくために、報酬改定内容を正しく理解してどのように対応をしていくべきか深く検討していくことが重要になります。福祉セミナー初のオンライン開催でしたが、質疑応答はzoomの「Q&A」機能を使って参加者から疑問点やもっとくわしく知りたいことなどについて熱心な質問が多数寄せられました。オンライン開催は会場までの移動がないため、業務多忙な福祉事業に携わっている参加者から大変好評でした。

■ 日　時／2021年2月13日（土）14:00～15:30
■ 開催方法／オンライン開催（zoomウェビナー）
■ テーマ／介護報酬改定とその対応について～協同組合が地域福祉に一層貢献するために～
■ 講　師／山際 淳さん　日本生協連組織推進本部　福祉事業推進部
■ 参　加／113名　パルシステム神奈川、ユーコープ、医療生協かながわ、川崎医療生協、神奈川みなみ医療生協、生活クラブ生協、富士フイルム生協、神奈川高齢者生協、福祉クラブ生協、参加型システム研究所、世話焼きW.Coひまわり、ワーカーズコープ夢コープ、神奈川県消費者団体連絡会、神奈川県生協連、その他民間団体、個人参加
■ 挨　拶／鈴木 忠　神奈川県生協連福祉事業連絡会座長（ユーコープ）

2021年 神奈川県消費者のつどい

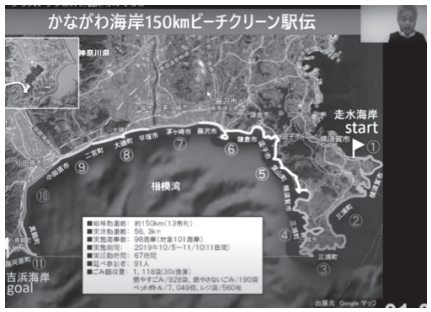
「プラスチックゴミと私たちのくらし」
～安心してくらせる持続可能な社会を子どもたちに～

全体会講師の高田秀重さん

神奈川県消費者のつどいは、1974年以来、県内消費者の学びの場、交流の場、発信の場として開催してきました。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により残念ながら中止となりましたが、今年はオンラインを活用し、「プラスチックごみと私たちのくらし」をテーマとして開催しました。

私たちのくらしのあらゆる場面で使われているプラスチック製品。便利である反面、世界で年間800万トンのプラスチックごみが海洋中に放出されており、このままいけば2050年には海洋中のプラスチックごみの重量が魚類の重量を上回るとの試算もあります。さらに海洋中のマイクロプラスチックは生態系や人体へ深刻な影響を与えることが懸念されています。

温暖化にも影響を与えているプラスチックの現状とその影響、どうしたらプラスチックを減らして持続可能な社会を創っていけるのかについて考える場として企画しました。



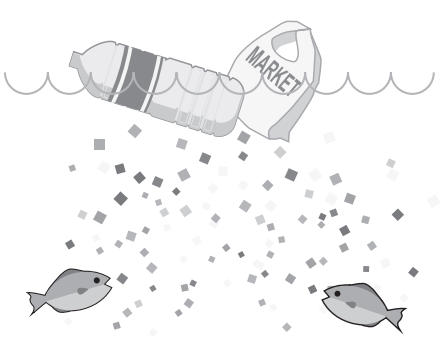
五十嵐実さんによる事例報告

■ **日　時**／2021年3月4日（木） 10:00～15:00
■ **開催方法**／オンライン開催（zoom使用）
■ **テーマ**／「プラスチックごみと私たちのくらし
～安心してくらせる持続可能な社会を子どもたちに～」
■ **主　催**／2021年消費者のつどい実行委員会（荒井彩委員長）
■ **参加者**／午前の全体会 154名　午後の分科会 28名
■ **内　容**／

・全体会
　司　会　　今井 里香さん（ユーコープ）
　実行委員長挨拶　荒井 彩さん（パルシステム神奈川）
　来賓挨拶　神奈川県くらし安全防災局消費生活課課長　林 眞由美さん
　講　演　　東京農工大学教授　高田 秀重さん
　事例報告　湘南クリーンエイドフォーラム代表　五十嵐 実さん

・分科会
　テーマ　　「私たちのくらしに役立つ標準化」
　報　告　　コンシューマーズかながわ･主婦連合会会長　有田 芳子さん

■ **実行委員会団体**（12団体）
神奈川県建設労働組合連合会主婦協議会、神奈川公団住宅自治会協議会、神奈川県母親連絡会、コンシューマーズかながわ、新日本婦人の会神奈川県本部、ユーコープかながわ県本部、パルシステム神奈川、NPO法人消費者支援かながわ、NPO法人神奈川県消費者の会連絡会、労協センター事業団神奈川事業本部、神奈川県生協連、神奈川県消団連
■ **後　援**／神奈川県、横浜市経済局、川崎市、相模原市



神奈川まるごと健康づくり

☆「健康」はすべて人の願いです。フレイルを予防するための重要なポイントは「栄養（食・口腔機能）」「運動」「社会参加」です。 この3点はコロナ禍で、体の免疫機能を高める（免疫を適切な状態にする）ための重要なポイントでもあります。

「サルコペニア」をご存じですか?

東京都健康長寿医療センター研究所の北村明彦研究部長らの研究グループは、日本人の一般高齢者1,851人の約6年間の追跡研究により、サルコペニアの有病率、関連因子、死亡・要介護化リスクを明らかにしました。75～79歳では男女ともに約2割、80歳以上では男性の約3割、女性の約半数がサルコペニアに該当し、サルコペニアになると死亡、要介護化のリスクがいずれも約2倍高まることがわかりました。

サルコペニアとは

サルコペニアは、加齢や疾患により、筋肉量が減少することで、握力や下肢筋・体幹筋など全身の「筋力低下が起こること」。または、歩くスピードが遅くなる、杖や手すりが必要になるなど、「身体機能の低下が起こること」をさす言葉です。

健康寿命の延伸のためには、サルコペニアの予防及び改善を図ることが大切です。厚生労働省ではお薦めのトレーニングを、「安全かつ効果的に『足腰』を鍛える」、「QOLの維持・向上」の2つの切り口から呼び掛けています。

安全かつ効果的に「足腰」を鍛える

強い足腰は活動的な日常生活をおくるうえで非常に重要です。お勧めのトレーニング法は椅子から立ち上がって座る「椅子スクワット」。膝への負担が小さく安全に効果的に足腰を鍛えることができます。足を前方に振りだす筋力を鍛える腿あげ運動も合わせて行うとよいでしょう。

QOLの維持・向上に大切な筋肉は

日常動作の基盤となる筋肉が、QOL（Quality Of Life:生活の質）に強い影響を与える筋肉です。例えば、太腿前の大腿四頭筋・お尻の大臀筋・腹筋群・背筋群。これらの筋肉を鍛えるトレーニングを継続的に行うこと、また日常から活動的な生活を送ることが大切です。

健康チャレンジ　2020まとめ

健康づくりは、きっかけがないと始めないもの。いつも出来ていないことを一つ「これをやろう」と決めて、10月・11月の間に多くの方が取り組みました。

★チャレンジカードの提出は4,211枚（前年は3,564枚）。（福祉クラブ生協、医療生協かながわ、神奈川北央医療生協、神奈川みなみ医療生協、富士フイルム生協、ユーコープ、パルシステム神奈川、うらがCO-OP、全日本海員生協、神奈川県生協連、やまゆり生協、生活クラブ生協、ワーカーズコープ・キュービック、神奈川大学生協、自然派くらぶ生協、その他）

★チャレンジカードの提出者の年代は、①70歳代、②60歳代、③80歳代、④50歳代、⑤40歳代、です。毎年100歳代の方もいらっしゃって、とても嬉しいです。

★マイチャレンジは、例年になく多様なテーマで工夫して取り組まれました。

★「今まで以上に自分の体の変化に気が付くようになった」と、取り組むことで自分の体をより身近なものに感じて頂くことができました。

★「声を出す事の大切さ」「人とつながる事の大切さ」「外に出る事の大切さが身に染みてわかりました」との声が多数あります。

★（マスクのせいもありますが）「風邪をひかなくなりました。」の声も多く頂きました。

★たくさんのコメントを頂きました。
運動習慣コース：993、生活習慣コース：666、マイチャレンジ：453、食習慣：254。

医療福祉生協連 神奈川エリア方針討論集会

日本医療福祉生協連（髙橋淳会長）は、2020年度のまとめと2021年度重点課題案の共有と深化のために、神奈川エリア方針討論集会を開催しました。今回は初めてのグループ討議も含めてWeb会議方式で行いました。

コロナ禍は私たちに精神・身体・社会・経済的な影響を与え、生命・生活の質はあきらかに低下してしまいました。大切な自分と仲間を守るために、「コロナに感染しない・感染させない」を踏まえつつ、「一人だけどひとりぼっちじゃない」と、創意工夫しながら新しい活動スタイルを生み出すことを提起した医療生協さいたまの報告は、大変参考になりました。

■ **開催日時**／2021年2月15日（月）13:00～15:50
■ **開催方法**／Web会議（zoom使用）
■ **参 加 者**／67名（医療生協かながわ、神奈川みなみ医療生協、神奈川北央医療生協、福祉クラブ生協、川崎医療生協、医療福祉生協連、神奈川県生協連）

■ **概　要**／

基調報告：「全国の医療福祉生協2020年度活動のふりかえりと2021年度の重点課題（案）」
片山 忍　日本医療福祉生協連 代表理事専務

生協報告：「ウィズコロナで今こそ地域に役立つ生協へ」
丸山 久美子　医療生協さいたま 常務理事

グループ討議：

①コロナ禍で生じた苦難と、事業や組合員活動の課題。コロナ禍を乗り切るための工夫、そこから明らかになった教訓。2021年度にとりくむべき重点課題。

②2021年度 全国の医療福祉生協の中心テーマと重点課題（案）についての意見

監事研修会 ―― 生活クラブ生協 神奈川県生協連医療部会

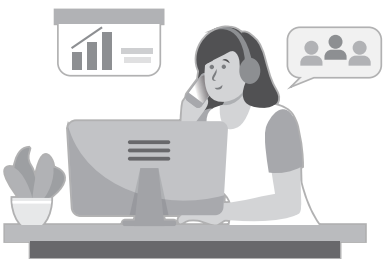
今年度は前年度の第4四半期から続く新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大のため、生協の事業や運動も大きな影響を受けており、運営上の様々な試行錯誤が重ねられています。生協ガバナンスの一翼を担う監事の皆さまもこれまでにない経験もされ、生協の事業運営についての問題意識も膨らんでいます。

日本生協連の土屋さんと相談して、新しいやり方で企画しました。

生活クラブ生協 監事対象

■ **日　時**／2021年2月17日(水) 14:00～15:00
■ **参加者**／20名

医療部会 監事対象

■ **日　時**／2021年2月18日(木) 14:00～15:00
世話人監事の平修監事（神奈川みなみ医療生協）と角田久美子監事（川崎医療生協）を中心に質疑応答を行いました。
■ **参加者**／７名

■ **開催方法**／事前に YouTube を使った学習講演の視聴及び研修会資料を読み込んだで、当日オンラインで講師と質疑及び意見交換を行い深める。
■ **研究テーマ**／「会計監査・期末監査と監査報告作成のポイント」
■ **講　師**／土屋 良一さん
日本生協連 総合マネジメント本部 法務部
■ **内　容**／（1）指導検査における指摘事項について　他
（2）会計監査・期末監査と監査報告作成のポイント